

# 伊高生、頑張っています!

5/22(月) 鹿嶋本新聞

お互いの書を見せ合う伊集院  
高校の書道部員 二日置市



紙面のテーマや担当を話し合う  
大島高校新聞部の部員 奄美市



## かごしま総文 2023

鹿島参加校から②

第47回全国高校総合文化祭(2023)かごしま総文は7月29日〜8月4日、鹿児島県内8市町で開催される。本書に向けて練習や開催準備に励む高校生たちを紹介する。

### 書道

### 伊集院高校

## いろは歌 書で伝える

軽快なJポップをBGMに、黙々と筆を運ぶ。展覧会での入賞や字の上達、仲間との交流…。めいめいに目的を持ち、女子23人が活動する。半数ほどは経験者だが、書道パフォーマンスに引かれて入部する生徒が増えているという。展示が中心となる書道部門には、事前の選考で員代表8人の一人に選ばれた坂上望心部長(3年)が漢字作品を出品。50枚近く練習を重ねたという。他の部員も受付、

案内などの役割を担う。会場には郷土の文化を書で紹介するコーナーを設け、伊集院は日新公いろは歌を担当。交流会では、屋久杉の板に揮毫する体験を企画する。書道部門の実行委員も務める坂上部長は「鹿児島島に来て良かった」と思ってもらえる総文祭にしたい」と意気込む。(藤本わか)

【メモ】薩摩川内市の2会場に、全国から選抜された約300人の漢字、仮名、篆刻てんこく作品など展示。

## 紙面作り通じて交流

### 新聞

### 大島高校

学期ごとに「大高ジャーナル」を発行する。週2回集まって編集会議を開き、紙面のテーマや担当を決めていく。7月に出す第18号は「奄美と戦争」がテーマだ。2018年12月の創刊以来、学内外を問わず奄美の話題を取り上げ、釣りやグルメなど連載コーナーも多彩。「全国高校新聞年間紙面審査賞」で入賞を重ね、県内の学校新聞コンクールでは、高校の部で4年連続で最高賞に輝いた。

部員は13人。総文祭では、交流新聞を作る活動に3人が参加する。清田優季乃さん(1年)は「読みやすく、わかりやすい紙面にまとめたい」。生徒実行委員長の有田結愛さん(3年)は「全国の生徒が交流を楽しめるように進みたい」と意気込む。(木下瑛司)

【メモ】甲南も出場。交流新聞は歴史や自然、産業といったテーマ別の班が鹿児島市内外で取材し、紙面を制作。参加校の作品展示もある。